

当院でがん化学療法を受けられた患者様へ

作成日 平成 29 年 7 月 18 日

研究「当院で化学療法を実施し、その後死亡した患者の最終化学療法施行日から亡くなるまでの期間についての調査」の実施について

1. 本研究の意義および目的

「いつがんに対する治療を止めるか」という判断は極めて困難な問題である。研究者は緩和ケアチームで活動しているが、そのようなケースに遭遇することもある。実際に当院で、がん化学療法はどの程度の予後の時点まで実施されているかを調査することで、「患者や家族の良好な QOL を実現する」というチームの目的の達成のために役立つと考えた。

2. 研究の方法

当院でがん化学療法を実施し、既に亡くなっていると電子カルテで確認できる患者について、後ろ向きに最終の化学療法から死亡するまでの日数、死亡した場所(当院、別の病院、在宅の3つに分類)を調査する。がん化学療法については、より毒性の強い点滴治療とし、内服薬のみの治療については除外する。

3. 試料等の保存および使用方法について

該当無し(がん化学療法実施患者については、薬剤局で保管している一覧を参照した)。

4. 研究全体の期間と予定症例数

平成 28 年 4 月時点、およびそれ以降に当院でがん化学療法を実施し既に亡くなっていると確認できる患者、予定症例数は 100 症例。

5. 研究結果の公表について

日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会にて発表する。

6. 個人情報に関して

本研究では、個人が特定されるデータを含まないが、個人情報を取り扱う場合は個人情報の保護に関する法律および徳島県個人情報保護条例を遵守する。

7. 本研究への参加を拒否する場合

該当無し。

8. 研究資金および利益相反管理について

開示すべき利益相反関係はない。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

責任者:徳島県立中央病院 薬剤局 薬剤局長 鎌田 和代

研究者:徳島県立中央病院 薬剤局 係長 野田 理絵

10. 連絡先

〒770-8539 徳島市蔵本町1丁目 10-3

徳島県立中央病院 薬剤局

TEL:088-631-7151(代表) FAX:088-631-8354